

巨大地震対策と防災庁設置を受け 建築耐震設計を考える

～命を守る建築から命をつなぐ建築へ～

熊本地震における建築物の被害事例をもとに、どのような被害が生じたのか、その特徴や耐震設計上の課題について整理したうえで、これまでの地震被害や地震観測から得られた知見を振り返り、今後の耐震設計に生かすべき教訓を学びます。さらに、防災庁設置に向けた取り組みを踏まえ、地震災害に備える防災・減災の考え方や、建築技術者に求められる役割について考察します。また、現在の建築耐震基準がどのような考え方に基いているのか、その限界も含めて整理し、南海トラフ地震等の巨大地震を見据えたこれからの耐震設計に何が求められるのかを、豊富な情報からわかりやすくお伝えします。



2026年

11月4日(水) 13:30～17:00

申込期限：10月29日（木）



■プログラム（予定）

1. 熊本地震
2. 過去の地震から学ぶこと
3. 南海トラフ地震の新たな被害想定
4. 防災庁設置に向けた準備
5. 地震の発生・地震波の伝播・増幅と建物の地震応答
6. 建築耐震基準の現状と今後の耐震設計の在り方

講師 福和 伸夫氏

名古屋大学名誉教授、あいち・なごや強靱化共創センター長

専門：建築耐震工学、地震工学、地震防災

委員：地震調査研究推進本部政策委員会、最高裁判所建築関係訴訟委員会、内閣官房国土強靱化推進会議、内閣官房防災庁設置準備アドバイザー、内閣府大規模地震防災対策推進検討会、国土交通省国土審議会などの委員を歴任。

■受講方式

- ①対面方式（定員20名）
会場：日本建築センター
3階会議室
- ②Zoomオンライン方式
（定員50名）

■受講料(税込)

— 般 13,200円
情報交流会正会員 11,000円

●お申し込みは、右下のQRコードまたは以下のURLからお願いします。

(<https://www.bcj.or.jp/seminar/detail/829/>)

●受講申し込みされた方には、申込み後に受講者専用ページのURLをお知らせします。
講義資料は、10月29日(木)までに受講者専用ページに掲載しますので、セミナー当日までに各自ダウンロードをお願いします。

●オンライン方式で参加の方へは入室用IDを、10月30日(金)にメール送付します。

●本セミナーは建築CPD情報提供制度認定プログラム・JSCA建築構造士更新評価対象講習(予定)です。



主催：一般財団法人 日本建築センター

問合せ先：情報事業部

TEL:03-5283-0477

Email:jyouhou@bcj.or.jp

2026.8.24